



Dental Healthy Kids

※写真を希望される方は保健センターまで

このコーナーでは、3歳児健診で、むし歯のなかった子どもたちを紹介しま〜す。
(5月21日健診より)



大滝 悠人くん(和納10区)



中村 光汰くん(高瀬7区)



鈴木 那優ちゃん(橋本)



鈴木 沙優ちゃん(橋本)

献血バスがやってきます

～健康な血液が支える貴い命～

現在、全国で1年間に約580万人(延べ人数)の人から献血へのご協力をいただき、その血液は輸血を中心とした医療を支えています。人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、人工的に造る事ができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することができません。輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの血液が必要なのです。



全血献血を実施! ★★★★★

とき 7月27日(火)
ところ 午前10時～午後0時30分 岩室村保健センター
午後2時～4時 介護老人保健施設いわむろの里

「追納額」はいくら?

私は大学生の時、学生納付特例制度を受けて国民年金の保険料を免除してもらっていた期間が2年ほどあります。この春、会社員になったので免除期間の保険料を納めようと思うのですが、保険料の額はいくらになるのでしょうか?

学生納付特例制度を受けて国民年金保険料を免除された期間は、老齢基礎年金を受けるために必要な期間には反映されますが、年金額には反映されません。

そこで、より満額に近い老齢基礎年金を受給するために、免除された期間の保険料を10年以内であれば納めることができる「追納制度」があります。

納める方法としては、免除された期間の保険料を一括して納める方法と分割で納める方法があり、ひと月単位まで分割することができます。

追納額は、免除を受けた当時の保険料に利子相当分として加算額を加えた額で納付することになります。ただし、免除された月の属する年度の翌々年度内に追納する場合(例えば平成14年度中に免除された保険料を平成16年度中に追納する場合)には加算が行われないことになっています。また3月は特別の扱いになっていて、例えば平成15年3月に免除された保険料を平成17年4月までに追納すれば加算が行われません。

追納を希望される場合は、三条社会保険事務所に申し出てください。

参考例 平成16年度中に追納する場合の追納額は、免除された年度に応じ下記のとおりとなっています。

免除された年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
追納額(月額)	14,390円	13,830円	13,300円	13,300円



イヌありくん

国民年金/金
おからのせ

住民課
☎82-5713

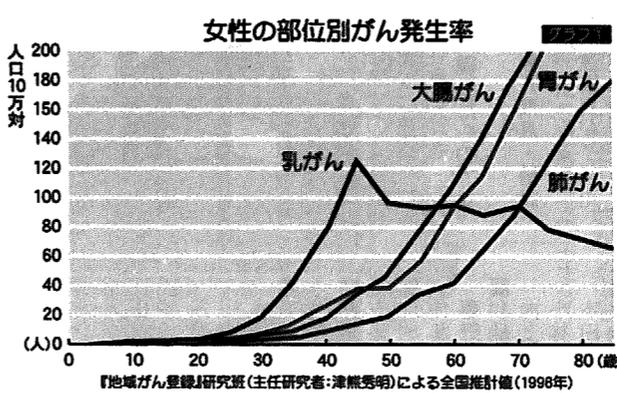
【お問い合わせ】
三条社会保険事務所
☎0256-32-2821
または 岩室村住民課 住民係 まで

『2年に1回はマンモグラフィ検査を!!』

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。近年急増している乳がんを、早期発見できるマンモグラフィ検査。今回は、このマンモグラフィについて考えをみまします。

ここで
保健師から
読書

どれが正しいでしょうか?
Q1 乳がんの発生率が最も高いのは
① 30～40歳代
② 40～50歳代
③ 50～60歳代
である。
Q2 マンモグラフィによる検査は
① 半年
② 1年
③ 2年
に1回受診するのが理想である。



わが国では、1年間におよそ35,000人の女性が乳がんを診断されています。乳がんの特徴は、40～50歳代の女性に特に多くみられることです。(グラフ①) 40～50歳代の乳がん発生率は、ここ20年間で約2倍に増加しており、約40～50歳代の女性に占めるがん死亡の23%を占め、この年代の女性



激増する
乳がん

にとつて最も多いがん死亡原因となっています。

マンモグラフィ検査とは...

マンモグラフィ検査は、乳房を片方ずつ、X線フィルムを入れた台とプラスチックの板で挟んで撮影します。X線も普通のものとは違い、乳房専用のものを使って撮影します。これにより、視診では発見できない、ごく初期の早期がんを見つけることができます。

マンモグラフィ検査は痛くないの??

マンモグラフィ検査では、乳房を挟んで平らにして撮影するため、乳房が圧迫されます。圧迫をしている時間は数十秒で、乳房を薄く均等にひきのばし、少ない放射線で小さな影まではっきりと写し出すことができます。また、圧迫の際に痛みを伴うことがあります。この痛みの感じ方は、人によって違いますが、生理前の1週間を避けると痛みが少なくなります。マンモグラフィによる検査は、乳房の大小にかかわらず、撮影は可能です。

精密検査は必ず受けましょう

マンモグラフィによる乳がん検査を受けると、通常5%の人に精密検査が必要となります。さらに、その精密検査を受けた人の中で、乳がんを診断されるのは、およそ2～4%程度です。よって、精密検査が必要とされた人すべてが乳がんではありませんが、乳がん検診で精密検査が必要と言われたら、必ず受診しましょう。

岩室村でも昨年からはじめています

岩室村でも昨年からはじめています。マンモグラフィによる乳がん検査を実施し、約200人が受診しました。このマンモグラフィによる検査は、2年に1回の受診でも、毎年受診した場合とほぼ同様の有効性が示されているため、国の指針でも2年に1回の検査を勧められています。今年も村では、8・9月に乳がん検査を実施します。毎日の自己検診に加え、マンモグラフィを併用した検査を2年に1回受診しましょう。